

府内酪農家の後継牛育成を支援

当センターでは昨年度から、全農京都府本部（全農）と連携し、府内酪農家での増頭と、育成に係る作業の省力化を目的に、乳用後継牛の育成を支援しています。

全農が酪農家から哺乳期の子牛を預かり、離乳後の 3 か月齢から 7 ～ 9 か月齢までの間、当センターで自給飼料を給与し、放牧することにより足腰を鍛えた後、北海道の預託牧場に送り出しています。

今年度はこれまでに 1 0 5 頭を受け入れ、6 7 頭を北海道に送り出しました。今後も放牧を取り入れた乳用牛の育成を通じて、京都府の酪農を支援していきます。



当センターの放牧場でゆったり過ごす育成牛